

# 第1学年国語科学習指導案略案

学校名 渋谷区立原宿外苑中学校

授業日 令和元年11月8日(金) 3校時

学年組 第1学年A組

- 1 単元名 漢字の音訓
- 2 本時の目標 漢字の音・訓について、問題を作ることで、関心をもたせ、読み分けに慣れさせる。
- 3 本時の展開

学習活動 児童・生徒の反応	●評価規準(評価場面) ▽ICT(タブレット)活用のねらい ◇支援
(1) 漢字の音と訓の違いについて学習したことを振り返り、確認する。	● 漢字の音と訓の違いについて理解している。(観察)
(2) タブレットを使い、グループで協力して漢字の読みの問題集を作る。	▽皆に見せる機能を使い、作ったものを共有することで、お互いに認め合う。また、漢字学習に対する意欲をもたせる。
(3) グループの中で、正解に間違いがないかどうか、文が適切かどうか、確認し、推敲する。	◇作る問題の数は、最低数を3つとし、得意な生徒はそれ以上作ってもよいこととする。
(4) 互いの作品を見る。	● 苦手な漢字の学習に興味や関心を持って取り組んでいる。(観察)
(5) 本時の学習と自身の取り組みを振り返る。	● 多くの漢字の中から、何通りかの読みを持つ漢字を選び、適切な文を作る。(観察、作品)
	◇次回から、授業の初め5分間にいろいろなグループの問題を解いていくこと、自宅でも自習に使ってよいことを伝える。

## 第2学年社会科学学習指導案略案

学校名 渋谷区立原宿外苑中学校

授業日 令和元年11月8日(金) 4校時

学年組 第2学年A組

- 1 単元名 第4章近世の日本 3節産業の発達と幕府政治の動き 5新しい学問と化政文化  
 2 本時の目標 新しい学問の発達や化政文化の特色について深く理解する  
 3 本時の展開

<p>学習活動 児童・生徒の反応</p>	<p>●評価規準(評価場面) ▽ICT(タブレット)活用のねらい ◇支援</p>
<p>(1) 前回までの説明、復習 前回までの授業内容でどのような学問があったのか、またどのように発達したのか復習する。</p> <p>(2) 江戸時代中期に発達した国学や蘭学などの学問に携わった人物と新たな学問がなぜ発達したのか結びつけて考える。</p> <p>(3) 蘭学の発達により、生み出された解剖書、地図について動画から理解を深め、関心を高める。</p> <p>(4) 江戸時代後期に発達した化政文化とはどのように栄え、どのような特色があるのか考える。</p> <p>(5) 新たな学問の発達により、各地で教育への関心が高まり、各藩でも人材教育に力を入れたことについて理解を深める。</p> <p>(6) 本時の復習</p>	<p>●関心(2)～(5):意欲的に学習に取り組んでいるか。</p> <p>▽デジタル教科書から資料を提示し、視覚的情報から関心を高めさせる。</p> <p>◇資料提示に際して説明を加える。</p>

## 第2学年社会科学学習指導案略案

学校名 渋谷区立原宿外苑中学校

授業日 令和元年11月8日(金) 3校時

学年組 第2学年B組

- 1 単元名 古都・京都をより深く知る
- 2 本時の目標 奈良・京都について理解を深め、現地の人々の工夫を知る。
- 3 本時の展開

学習活動 児童・生徒の反応	●評価規準（評価場面） ▽ICT（タブレット）活用のねらい ◇支援
(1)地図帳で京都の中心部の地図を見て、歴史的建造物等の大まかな位置を確認する。	●関心：積極的に課題に取り組んでいる。 タブレットで調べている。  ◇机間指導
(2)京都駅9時出発し、16時から16時半に戻る、京都一日旅行計画を作成する。	●関心：積極的にコースづくりをしている。
(3)見学場所の見どころを記入、昼食場所も決める。	●技能：タブレット、地図を有効に使い、合理的にコースをつくれている。  ▽タブレットを有効に使用し、コースをつくる。
(4)他の人が見てもわかりやすいように、コース図を作成する。	◇机間指導  ●技能：他の人が見てもわかりやすいものになっているか。
(5)多くの観光客を受け入れている地元の人たちの工夫などを画像で確認する。	

# 第3学年数学科 学習指導案略案

学校名 渋谷区立原宿外苑中学校

授業日 令和元年11月8日(金) 4校時

学年組 第3学年 A,C組

2クラス3展開 少人数授業

1 単元名 相似な図形

2 本時の目標 紙ベースやタブレットを利用して相似な図形をかき、相似の概念を深める。

3 本時の展開

学習活動 児童・生徒の反応	●評価規準（評価場面） ▽ICT（タブレット）活用のねらい
<p>導入</p> <p>(1) 相似な図形の性質のついで復習</p> <p>S1：対応する辺の比が等しい。</p> <p>S2：対応する角が等しい</p> <p>方眼紙を利用した相似な図形のかき方の復習</p> <p>展開</p> <p>(2) 相似の中心を利用した相似な図形のかき方を考える。</p> <p>S3：光が当たって大きくなった影のイメージ</p> <p>S4：元の図形と中心を挟んで反対側にもできる。</p> <p>(3) 紙以外での相似な図形のかき方を考える。</p> <p>S5：タブレットを利用すれば、拡大図、縮小図をかきことができる。</p> <p>タブレットを使った図形や写真の拡大、縮小機能を使って、図形や写真などの拡大、縮小図をいろいろと試し、気が付いたことや感想などをレポートにまとめる。</p> <p>まとめ</p> <p>(4) 実際に word 等で図や写真を挿入するときに相似な図形の考え方を活用していることに気づき、これからの学習活動に活かしていく。</p>	<p>▽ デジタル教科書を活用しながら復習する。</p> <p>実際に紙ベースにかく。</p> <p>●相似の中心を利用して相似な図形をかきことができる。(観察、ノート)</p> <p>▽ダイレクトクラウドからあらかじめ配信してある word の図形や写真を使って、相似な図形が簡単に描けることを確認する。</p> <p>●相似な図形をかきことによって相似の概念を具纏めることができた。(観察、タブレットで作成したレポート)</p> <p>●word の機能を利用して拡大図や縮小図をかいたり、気が付いたことをレポートにまとめようしたりすることができた。(観察、レポート)</p>

### 第3学年理科学習指導案略案

学校名 渋谷区立 原宿外苑中 学校  
 授業日 令和元年11月8日(金) 3校時  
 学年組 第3学年C組

- 1 単元名 地球と宇宙 日食と月食
- 2 本時の目標 日食がなぜ起こるのかを知り、皆既日食と金環食の原理を理解する
- 3 本時の展開

<p style="text-align: center;">学習活動 児童・生徒の反応</p>	<p>●評価規準（評価場面） ▽ICT（タブレット）活用のねらい ◇支援</p>
<p>(1) 日食の映像を見る。 (既習事項である太陽の様子も確認する。)</p> <p>(2) 日食が起こる原理を調べ、発表する。</p> <p>(3) 課題を選び、検索エンジンで調べ、ワードでまとめる。 (課題として、1・部分日食と皆既日食と金環食の違いと原理、2・日食が珍しい現象である理由を選ぶ。)</p> <p>(4) 作成したワードを保存、データを提出し、次時に生かす。</p>	<p>▽ 動画を視聴することで興味・関心を高める。</p> <p>▽ 知識や理解を深めるために検索エンジンを活用する。</p> <p>● 日食の原理を説明できる。(ワークシート)</p> <p>▽ 知識や理解を深めるために検索エンジンを活用し、データとしてまとめる。</p> <p>● 課題に対して的確に資料を集めまとめることができる。(ワークシート)</p> <p>◇ 机間指導をしながらアドバイスをしていく。 評価がAの生徒に対しては月の楕円軌道や白道の傾きについて検索させ、評価がCの生徒に対しては位置関係を導き出すように検索させる。</p> <p>▽ データを保存、共有することで次時の発表に備える。</p>

## 第2学年英語科学習指導案略案

学校名 渋谷区立原宿外苑中学校

授業日 令和元年11月8日(金)4校時

学年組 第2学年B組

1 単元名 Presentation 2 町紹介 NEW HORIZON English Course 2

2 本時の目標 自分の住んでいる町についての発表原稿、スライドを作成する。

3 本時の展開

<p>学習活動 児童・生徒の反応</p>	<p>●評価規準（評価場面） ▽ICT（タブレット）活用のねらい ◇支援</p>
<p>(1) あいさつをする。 今月の歌を歌う。 ペアで簡単なチャットを行う。</p> <p>(2) 町紹介の例を見て、内容を確認する。 紹介例の音読練習をする。</p> <p>(3) 自分の町について紹介する発表原稿を書く。</p> <p>(4) タブレットパソコンを使用し、発表内容に関わるスライドを作成する。</p> <p>(5) 次時（発表）の内容を確認する。</p> <p>(6) あいさつをする。</p>	<p>● 強勢、イントネーション、区切りなどの英語の音声的な特徴を捉えて、意味内容にふさわしく音読することができる。（観察）</p> <p>◇ 読めなければ節や単語単位で読む練習をさせる。読めているか確認し、必要に応じて個別に支援する。</p> <p>▽ プレゼンテーション能力を向上させるためにスライドを使用した発表準備を行う。</p>

### 第3学年音楽科学習指導案略案

学校名 渋谷区立原宿外苑中学校

授業日 令和元年11月8日(金) 3校時

学年組 第3学年A組

1 単元名 「展覧会の絵」

2 本時の目標 音楽の諸要素と絵画の印象とのかかわりを感じ、曲の魅力について根拠を持って批評する。

3 本時の展開

<p>学習活動 児童・生徒の反応</p>	<p>●評価規準（評価場面） ▽ICT（タブレット）活用のねらい ◇支援</p>
<p>(1) 楽曲の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この曲が作曲された経緯。</li> <li>・ガルトマンが描いた絵からイメージして創られた曲であること。</li> </ul> <p>○PowerPoint を使用し表示する。</p> <p>(2) 第5曲目と第10曲目の絵画を見ながら、曲を聴く。曲を聴きながら感じ取ったことをタブレットで記入する。</p> <p>S1 速いテンポと高い音で、雛鳥の可憐さやすばしっこさを表現しているように感じる。</p> <p>S1 フォルテで金管楽器を使用したことでキエフの門の大きさや堂々としたたたずまいを感じる。</p> <p>S1 チャイムの音が鳴り響いているので、絵画に描かれている鐘の音を表現しているように感じる。</p>	<p>▽絵画や写真等を表示し、視覚的に理解の定着を図る。</p> <p>▽コラボノートを使用し、感じたことを付箋に書き貼り付けていく。</p> <p>互いに感受したことを共有することで、多角的に楽曲をとらえられるようにする。</p> <p>●絵画と音楽の特徴とのかかわりに関心をもち、鑑賞の学習に主体的に取り組んでいる。(タブレット)</p> <p>●楽曲を聴き、感受したことを言葉で表現することができる。(タブレット・観察)</p> <p>◇評価Aの生徒に対して、絵の印象と曲の雰囲気や構成がどのようにリンクしていると感じるか書かせる。</p> <p>評価Cの生徒に対して、曲の雰囲気や・絵の印象を書かせる。</p>
<p>(3) 楽曲の魅力について批評文を書く。</p>	<p>▽コラボノートの批評文書式に記入し、提出する。</p> <p>●楽曲を聴き、感受したことや考えたことを根拠をもって批評することができる。(タブレット)</p> <p>◇評価Aの生徒に対して、音楽の諸要素と絵画の印象を関連させて批評文を書かせる。</p> <p>評価Cの生徒に対して、付箋で書いている言葉を手掛かりに批評文を書かせる。</p>

# 第1学年体育科学習指導案略案

学校名 渋谷区立原宿外苑中学校

授業日 令和元年11月8日(金) 4校時

学年組 第1学年AC組

- 1 単元名 陸上競技 「長距離走」
- 2 本時の目標 エクセルの計算機能を利用し、記録向上に向けて自己分析を行う。(思考・判断)
- 3 本時の展開

学習活動 児童・生徒の反応	●評価規準(評価場面) ▽ICT(タブレット)活用のねらい ◇支援
<p>(1) 集合・整列・挨拶・準備体操を行う。 S1: 体を温めるために真面目に取り組む。</p> <p>(2) ウォーミングアップとペースの確認を行う。 ・1周150m S1: 1周のペースを把握できず速すぎてしまう。 S2: 1周のペースを把握できず遅すぎてしまう。</p> <p>(3) ペアを作り、前半に走るかと後半に走るかを決める。 この際に、本時の目標を設定し、ペアに伝える。 S1: 参考タイムを把握し見合った目標を設定することができる。 S2: 目標設定が大幅に遅い。</p> <p>(4) ペアの前半から測定を始め、パートナーはタブレットを使用し、エクセルのシートに1周ごとに通過タイムを入力する。 S1: ラップタイムを聞きペース配分をする。 S2: ラップを伝えアドバイスをする。</p> <p>(5) ペアで交代をする。</p> <p>(6) 走り終わった後に、ペアで集まり反省点や課題を考え コラボノートを使用して、学習カードを記入させる。 S1: 自分の反省点を明確に理解する。</p> <p>(7) 教師から本時のまとめを話して、理解を深める。 S1: 次回の目標を設定する。</p>	<p>◇ タイマーを設置し細かく秒数を読み上げる。 ◇ 目標タイム設定に見合ったラップタイムを確認させる。</p> <p>● 現在の自分自身の技能を把握し、目標タイムを設定することができる。(思考・判断) ◇ 参考のタイムを提示し、見合った目標設定を設定させる。</p> <p>● 動画を見て、改善のための効果的な意見を出している。(タブレットと観察) ▽ 即座に1周ごとのラップタイムが出るのでペースを把握し伝えることができる。 ▽ ラップを確認することで次への改善へ最適なものが何かを考えやすくする。 ◇ パートナーへのアドバイスをさせる。</p> <p>● 次に生かされる事項・内容が記入されている。(タブレットノート) ◇ 1行で終わってしまわないように助言をする。 ▽ コラボノートを学習カードとして利用することで、生徒自身の紛失を防ぐことができる。 ◇ 持久走への理解と関心を高める。</p>



# 第1学年保健体育科学習指導案略案

学校名 渋谷区立原宿外苑中学校

授業日 令和元年11月8日(金) 4校時

学年組 第1学年AC組

1 単元名 F 武道 『柔道』

2 本時の目標 カメラ機能を利用し、技の完成度を高める。(技能と思考力・判断力)

3 本時の展開

<p>学習活動 児童・生徒の反応</p>	<p>●評価規準(評価場面) ▽ICT(タブレット)活用のねらい ◇支援</p>
<p>(1) 単元に入る前の準備体操をする。 S1:体を温めるために真面目に取り組む。</p> <p>(2) 習った寝技を使って抑え込み合戦をして体を温める。 S1:抑え込みの方法を理解していない。 S2:抑え込めず逃げられてしまう。</p> <p>(3) 腰技である大腰で相手を投げる。ただし、受けと取りを決めて約束練習とする。3回目で相手を投げる。 S1:相手の腰に上手くのせることができていない。 S2:取りが相手の体を崩せていない。</p> <p>(4) 3人1組で受けと取りと撮影の役割分担を決めて、カメラ機能で撮影を行い。その映像を見ながら、意見を出し合い改善に向けて練習する。 S1:否定的な意見を言う。 S2:肯定的な意見を言う。</p> <p>(5) 全体で集まり何個かのグループに発表をしてもらい。考えを深める。様々な意見を聞いた後、コラボノートを使用して、学習カードを入力する。 S1:大腰のポイントを理解した上で発言する。</p> <p>※コラボノートを使用。</p> <p>(6)教師から本時のまとめを話して、理解を深める。 S1:技をしっかりと理解することが出来る。</p>	<p>◇ 学習した寝技をもう一度確認させる。 ◇ 上手にできている生徒に対しては、体重ののせ方まで指導する。</p> <p>● 自分の腰に相手の体がしっかり乗っている。(技能面での観察) ◇ 体さばきと釣り手と引き手の関係をしっかりと確認させる。</p> <p>● 動画を見て、改善のための効果的な意見を出している。(タブレットと観察) ▽ カメラ機能を利用することで、巻き戻しや停止をして自分の動作を確認することができる。動作を確認することで次への改善へ最善なもの何かを考えやすくする。 ◇ 巻き戻ししたり、止めたりして、技のポイントをしっかりと押さえることができていのかを考えさせる。</p> <p>● 次に生かされる事項・内容が記入されている。(タブレットノート) ◇ 1行で終わってしまわないように助言をする。 ▽ コラボノートを学習カードとして利用することで、生徒自身の紛失を防ぐことができる。また教師も1つのノートで全員分を確認できるので、効率が良い。</p> <p>◇ 技のポイントを再確認して、理解を深めさせる。</p>

## 第2学年体育科学習指導案略案

学校名 渋谷区立原宿外苑中学校

授業日 令和元年11月8日(金) 3校時

学年組 第2学年AC組

- 1 単元名 陸上競技 「長距離走」  
 2 本時の目標 エクセルの計算機能を利用し、記録向上に向けて自己分析を行う。(思考・判断)  
 3 本時の展開

<p>学習活動 児童・生徒の反応</p>	<p>●評価規準(評価場面) ▽ICT(タブレット)活用のねらい ◇支援</p>
<p>(1) 集合・整列・挨拶・準備体操を行う。 S1: 体を温めるために真面目に取り組む。</p> <p>(2) ウォーミングアップとペースの確認を行う。 ・1周150m S1: 1周のペースを把握出来ず速すぎてしまう。 S2: 1周のペースを把握出来ず遅すぎてしまう。</p> <p>(3) ペアを作り、前半に走るかと後半に走るかを決める。 この際に、本時の目標を設定し、ペアに伝える。 S1: 前回は測定したタイムを参考に目標を設定することができる。 S2: 目標設定が前回のタイムよりも大幅に遅い。</p> <p>(4) ペアの前半から測定を始め、パートナーはタブレットを使用し、エクセルのシートに1周ごとに通過タイムを入力する。 S1: ラップタイムを聞きペース配分をする。 S2: ラップを伝えアドバイスをする。</p> <p>(5) ペアで交代をする。</p> <p>(6) 走り終わった後に、ペアで集まり反省点や課題を考え コラボノートを使用して、学習カードを記入させる。 S1: 自分の反省点を明確に理解する。</p> <p>(7) 教師から本時のまとめを話して、理解を深める。 S1: 次の目標を設定する。</p>	<p>◇ タイマーを設置し細かく秒数を読み上げる。 ◇ 目標タイム設定に見合ったラップタイムを確認させる。</p> <p>● 現在の自分自身の技能を把握し、目標タイムを設定することが出来る。(思考・判断) ◇ 前回のタイムを提示し、見合った目標設定を設定させる。</p> <p>● 動画を見て、改善のための効果的な意見が出している。(タブレットと観察) ▽ 即座に1周ごとのラップタイムが出るのでペースを把握し伝えることが出来る。 ▽ ラップを確認することで次への改善へ最適なものが何かを考えやすくする。 ◇ パートナーへのアドバイスをさせる。</p> <p>● 次に生かされることが記入されているか、内容が充実しているかを確認する。(タブレットノート) ◇ 1行で終わってしまわないように助言をする。 ▽ コラボノートを学習カードとして利用することで、生徒自身の紛失を防ぐことが出来る。</p> <p>◇ 持久走への理解と関心を高める。</p>